

## 山北高校生が取り組んだ まちづくりの実践

1月16日(金)、生涯学習センター多目的ホールにおいて、県立山北高等学校による第5回「地域との協働による報告会」が開催され、校内で選ばれた6つのグループが、3年間の活動をとおして高校生の視点から探究してきた成果を発表しました。

企画から実現にまでこぎつけた過程や、結果から分析した今後の課題などをわかりやすくプレゼンしました。今年度は活動に関わってくださった地域の方々からも発表後にコメントをいただきました。高校生と地域とのつながりに新たな可能性を感じる素晴らしい実践だったと温かな賛辞を送っていただきました。

参加者からは「年々、質の高まりを感じる。高校生のアイデアを町のPRに生かし、継続して取り組んでほしい。」山北中の

1年生からは「SNSを活用した情報発信や山北にんにくなどの特産品を広めようと畑で作業したり、給食の献立を考えたりする高校生の行動力がすごかった。」などの感想が寄せられました。



### 提言 1 『進化する！山北自然PR』

TikTok を活用して山北町の自然の魅力を発信し、観光誘致への効果を期待する企画を実現。

### 提言 2 『笑顔はじける！ポッチャ大会』

地域の活気とつながりをめざし、高齢者と若者が世代を超えて交流できるポッチャ大会を開催。

### 提言 3 『心と体のすこやか長寿計画』

高齢者施設で健康長寿を支え、交流の機会を増やすため、季節ごとのイベントや環境づくりを実施。

### 提言 4 『山北町アピール』

#### ～やまきたにんにくを広めよう～

やまきたにんにくの美味しさを実感してもらえる企画を通し、地域の認知度やブランド力を高める。

### 提言 5 『山北〈愛〉あふれる特産品給食』

町の特産品を生かした給食献立を山北中学校で栄養士のアドバイスを得ながら考案し、実現。

### 提言 6 『空き家を古民家カフェに』

空き家をリノベーションして古民家カフェを開く企画をもとに町の活性化と観光資源創出を探索。

## よづく ひやくまんべんねんぶつ 県指定無形民俗文化財 世附の百万遍念仏 が「2026年日本の祭り」に認定

山北町が誇る県指定民俗文化財「世附の百万遍念仏」が、2月14日(土)・15日(日)に向原の能安寺において開催されました。約600年前の南北朝時代に発祥されたと伝えられるこの百万遍念仏は、長さ9mの大数珠を巨大な滑車に取り付け、回転させながら念仏を唱える全国的に珍しい方法で行います。

今年は、ダイドーグループが毎年行っている地域活性化を目的とし、祭りの魅力を全国へ発信する活動「2026日本の祭り」に選ばれ、ダイドーグループ高松社長より、湯川町長へ認定書が贈呈されました。また地元テレビ局である「テレビ神奈川」が番組制作にあたり「世附の百万遍念仏」の魅力を広く届けてくれます。テレビ神奈川の放映は今月20日(金・祝)昼12時からですので、皆さまぜひご覧ください。



山北町で生き生きと学ぶ鹿島山北高校生

鹿島山北高校の学校設定科目「山北町の新しい農業」では、全国から集まった生徒たちが中川～箒沢地区で、準高地の特性を生かした多くの作物の育成に取り組んでいます。

多くの収穫があった夏季より、道の駅「山北」で販売を開始。形はさまざまですが、それも無農薬ならではの愛敬。購入者からは甘みとうま味に高評価をいただいています。

令和8年度からは、学校設定科目「山北町の手芸」を新設します。

「紙漉き・草木染」などの伝統工芸を体験・製作することで、地域に伝わる文化の復活や継承につながる取り組みにも挑戦します。



道の駅で販売した作物

どうする？災害時の保育

12月24日（水）に3園合同で職員のための防災研修が行われました。

アウトドア防災ガイドのあんどうりすさんを講師に招き、災害時への備えや衛生面での注意事項、避難所での被害から身を守る方法、情報入手に便利なアプリなど、数多くの具体的な対処法を学びました。

実際に防災グッズを紹介していただきながら、先生方もグッズを使ったり、救助の仕方を実践したりして、正しい知識や確かな情報を得る手段を知っておくことの大切さを実感していました。



VR ゴーグル体験の様子

0歳から15歳までの一貫教育・保育の取組紹介

～運動やスポーツに親しむ子どもをめざして～

山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」のカリキュラムにある「運動領域」での運動習慣の確立に向けた取組を紹介します。



【園では・・・】

東海大学との連携による運動遊びの推進を続けており、今年度は11月に生涯学習センターに3園の年長児が集まって、大学生と一緒に幼児期に経験しておきたい基本の動きを中心に、楽しく活動しました。

【小学校では・・・】

時間走で異学年のペアを組み、上級生が走り方やペースを助言したり、記録の確認を行ったりして、下級生を支える場を設定しました。互いに励ましあいながら練習を重ね、全校目標の達成に向けて意欲が高まりました。

【中学校では・・・】

長期休業中の課題として短縄跳びに取り組み、家庭においても時間跳びや二重跳びなどに挑戦しています。

廊下に常時ハンドグリップが置いてあり、気軽に「ちょこっとトレーニング」できる環境を整えています。

生涯学習の視点に立って、運動やスポーツに親しみ、継続していくことで心身の健康維持につなげられる子どもの育成をめざし、園・小・中が成長段階に沿って、それぞれの取組を進めています。

山北町の園児・児童・生徒数 (R8.2.28現在)

岸幼稚園	16	川村小学校	332
向原保育園	52	山北中学校	178
やまきたこども園	89		
計	157	計	510

教育委員会審議事項

○第12回(12月24日)

・教育長報告

○協議会

・小・中学校体育館空調設備の設置について

・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

・第47回丹沢湖マラソン大会結果について

・第80回足柄上地区一周駅伝競走大会について

○第1回(1月26日)

・教育長報告

○協議会

・山北町立学校教職員の業務量管理・健康

確保措置実施計画(案)について

・2学期制について

・第80回市町村対抗かながわ駅伝競走大会について

・冬の星座教室について

・総合教育会議について

○第2回(2月25日)

・教育長報告

・山北町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

・山北町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

・山北町立学校教職員の業務量管理・健康確保

措置実施計画の策定について

・山北町社会教育委員の委嘱について

・令和8年度当初予算案の概要(教育費)について

○協議会

・第80回足柄上地区一周駅伝競走大会の結果について

・山北町文化財講座について

・令和7年度スプリングスクールについて

・第69回山北町親睦ゴルフ大会について

・その他